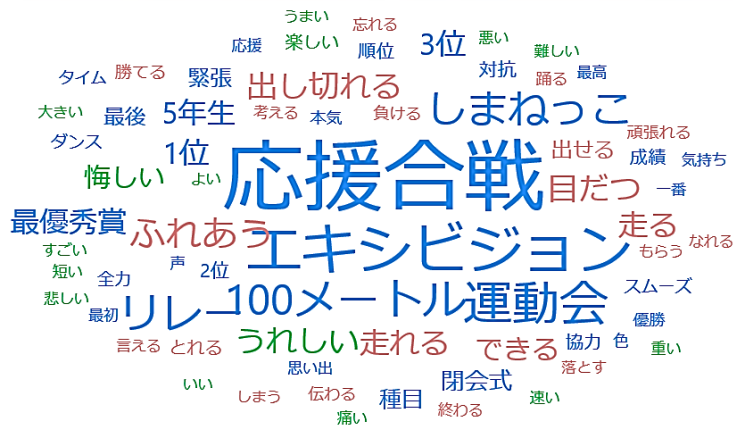


ないすな

【めざす子どもの姿】

いきいき 学び合う
のびのび 認め合う
力いっぱい 鍛え合う



【運動会を開催しました】

子どもたちは、児童会スローガンを体育館窓に掲げ、一生懸命取り組みました。左は、6年生児童の日記から作成した「テキストマイニング」です。

アイディアを出し合い、練習を積み重ねた応援合戦が心に残っているようです。「うれしい」「悔しい」「楽しい」「悲しい」と思いはいろいろありますが、「出切る」「出せる」と精一杯取り組んだ様子が見て取れます。また、「ふれあいタイム」で5年生以下の児童からの言葉も心に焼き付いているようです。

令和3年6月7日（月）

第44回

仁摩小学校運動会

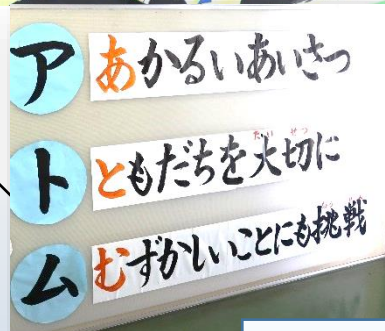
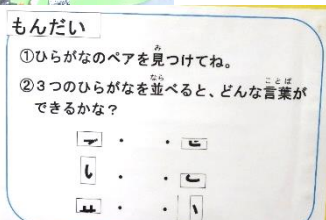


運動会の様子の写真が早速廊下に掲示されました。

児童たちは、自分が写っていないか、興味津々見つめています。

【教室・廊下掲示（ほんの一部です）あれこれ】

教室や廊下に、子どもの作品や先生方がつくった掲示物がたくさん貼られています。季節的なものもあれば、一年間を見つめる掲示物。この先どんな風に変化していくのか、子どもの成長を感じ取るうえでも楽しみにしています。



【校内寸描】

5月30に行われた全国植樹祭の式典に、4人の児童が参加しました。式典では、代表者植樹の介添え役を立派にやり遂げました。前日のリハーサルや植樹祭当日、待ち時間や練習の合間に見せた姿もとても素敵でした。

仁摩小の4人組で遊びながら時間を過ごすのは当たり前ですが、やがて、他校の参加者と打ち解けて遊んだり、一人で参加していた他校の児童を、自分たちから誘ってカードゲームを楽しんだりしていました。誰かから促されたからではなく、自分たちから関わりを広げていく姿を頼もしく思いました。

【編集雑記】 通勤途上に、「ごいせ仁摩」とインターチェンジの工事現場があります。図面をもとに、多くの職人さんたちが分担して作業に取り組んでいるであろうことを想像し、日々完成に近づくのを見るのは壮観です。DIYで棚や物入を作るのですが、設計が雑なのか、加工精度が悪いのか、「現場調整」がほとんどです。学校も、最後は一人一人に合わせた「現場調整」が大切。と、壮観な建築・建設物を見ながら思っています。 文責・校長 舟木志郎